

# 中山間ふるさと・水と土保全推進事業 事業実施計画について（棚田地域の保全）

---

令和4年9月13日（火）  
滋賀県 農政水産部 農村振興課  
地域資源活用推進室

# ■ 中山間ふるさと・水と土保全推進事業の概要

## (棚田地域水と土保全基金)

### ○趣旨

棚田地域の多面的機能の良好な発揮と地域住民活動の活性化を図るため、「棚田地域水と土保全基金」を造成し、その運用益等により都市住民等の活動参加ネットワークの構築・運営、地域住民活動を推進する人材の育成、施設や農地の保全および保全整備等の促進に対する支援を行う。

### ○基金

#### ・棚田地域水と土保全基金

基金造成額:4.5億円 (国1/3、県2/3:H10~H12)

基金残高 令和3年度末:4.0億円

## ■ 事業実施計画（R2～R6）

### 事業

#### 4. 棚田の保全および地域の振興

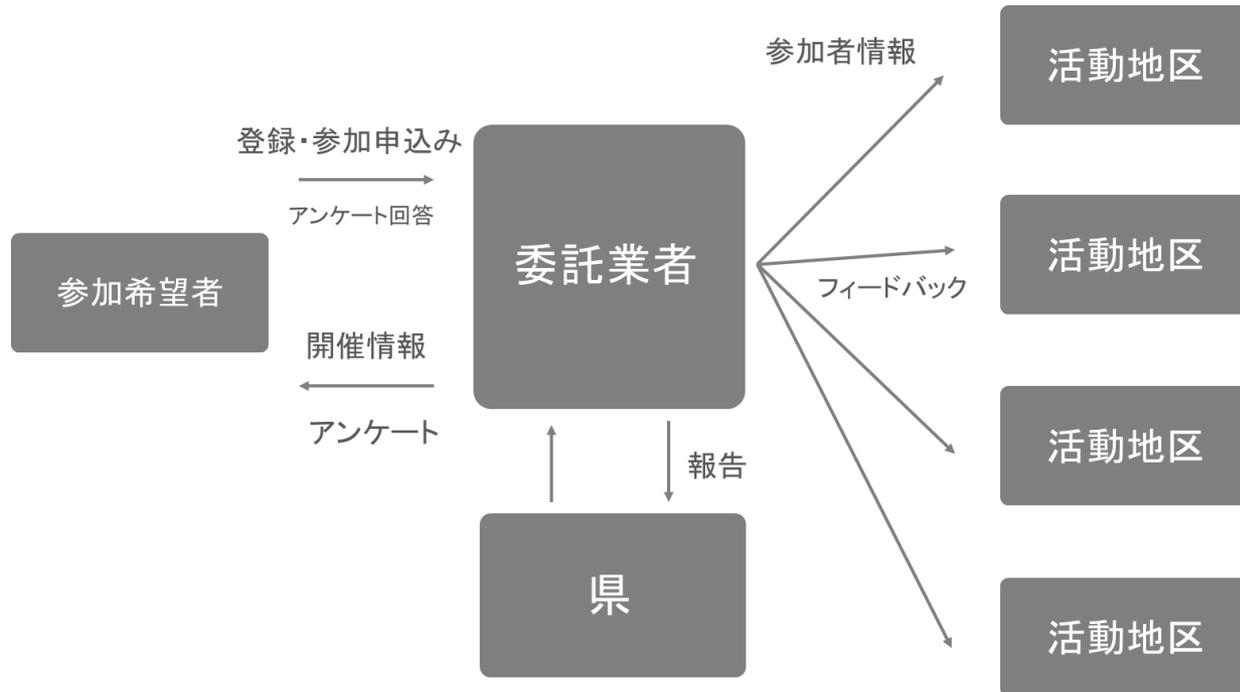
## ■ 令和3年度の取組・実績

事業名	事業内容	当計画における成果目標		実績
4. 棚田の保全及び地域の振興	棚田の魅力発信やボランティア参加の募集および保全活動支援を実施する。	支援策の実施		たな友登録制度
		ボランティア参加者数	240人	154人

# 4. 棚田の保全及び地域の振興 支援策の実施

## ○趣旨

棚田ボランティア参加希望者へ情報を円滑に伝達するとともに、リピーターを増やすため棚田ボランティア登録制度を創設・運営する。あわせて、活動地区に対する助言を通じて、活動内容の魅力向上を図る。





# 4. 棚田の保全及び地域の振興 支援策の実施

## たな友（しが棚田ボランティア）登録制度



# 4. 棚田の保全及び地域の振興 支援策の実施 棚田カード



平尾  
HIRAO

**走井 (HASHIRO)**

所在地	富賀県栗東市荒浜
棚田枚数	約67枚(約10ha)
主生産品種	米(コシヒカリ)
農作業時期	代かき:4月 稲刈り:9月
平均勾配	約1/13.2
田植え	5月
刈	9月

**注目ポイント**

栗東市高橋にある金勝寺の門前集落として栄えた走井集落。走井地区は草津駅から車で20分、栗東ICから10分と交通の便が良く、豊かな自然が多く残る地区です。春には田植え体験、秋には稲刈り体験、11月には収穫祭「ハーベストイン走井」が開催され、棚田でとれたお米の試食や、田植え・稲刈りの体験者には新米のプレゼントがあります。

地元の「明日の走井を考える会」は棚田ボランティア制度に取り組まれており、集落へ続く道路沿いには棚田ボランティアで手入れされた色とりどりのアジサイが植えられ、地域を彩っています。

棚田カード No. 25-07-令和4年4月 詳しくはコチラ

**平尾 (HIRAO)**

所在地	富賀県大津市卯木
棚田枚数	1500枚以上
主生産品種	米(みずかがみ)
農作業時期	代かき:4月 稲刈り:9月
平均勾配	約1/14
田植え	5月
刈	9月

**注目ポイント**

平尾の棚田は西に雲峰・比叡、東に古代湖・琵琶湖を望む中山間地域に位置しています。この地域は平安時代からの歴史があり、稲作の一大生産地帯です。ひょうたん型や半円形、トフクターの幅一台分しかない細長い形など、扇形整備が行われていない田んぼが数箇所にも残り続けた棚田になっています。

地元の「平尾 聖山・棚田守り人の会」は、大好きな平尾の聖山・棚田がいつまでも残ってほしいという志を持った人たちが集まり、平成18年に会を発足させ活動を開始し、棚田ボランティアや棚田オーナー制度をはじめ様々な棚田保全活動に取り組まれています。

棚田カード No. 25-08-令和4年4月 詳しくはコチラ



走井  
HASHIRO

# 4. 棚田の保全及び地域の振興

## 棚田ボランティア制度の運営

### 畑地区

- ・棚田百選に選定された棚田を保全するため、休耕田の草刈り等を実施【高島市】

### 平尾地区

- ・棚田オーナー制度を始めとした保全活動や獣害柵の立て直し等を実施



【大津市】

### 上仰木地区

- ・大学と連携し草刈り等の棚田の保全活動を実施



【大津市】



### 森西地区

- ・電気柵周辺や山道の草刈り、枝切り等の活動を実施



【高島市】

あけびはら

### 山女原地区

- ・クルミ植栽地の草刈り、クルミの殻むき等の活動を実施



【甲賀市】

# 4. 棚田の保全及び地域の振興

## 棚田ボランティア制度の運営

### 鶴川地区

- ・耕作放棄田を復旧させ、棚田オーナー制度等による保全活動を実施



【高島市】

### はしり 走井地区

- ・草刈りや紫陽花ロードの整備のほか、地域で収穫祭を開催



【栗東市】



### 池原地区

- ・大学と連携し草刈り等の棚田の保全活動を実施



【長浜市】

### 小泉地区

- ・耕作放棄田の復旧等の棚田保全活動の他、体験メニューの提供



【米原市】

# 4. 棚田の保全及び地域の振興 支援策の実施

令和三年度 棚田保全ネットワーク推進事業支援業務

## たな友 棚田 交流会

令和3年 12月4日(土) 9:30~15:30(予定)

会場 高島公民館 (アイリッシュパーク小ホール)  
住所: 高島市高島市藤野70番地  
現地: 高島市鶴川地区 棚田

みんなで、明日の棚田を考えよう!

将来にわたり、伝えていける棚田について、棚田を愛する皆さんと語り、楽しみ、考える交流会です。どなたでもご参加頂けます!

棚田の良さを、もって伝えたい  
きれいな棚田 景観を見に来て欲しい  
棚田を守る人を増やしたい!  
これからの農業をビジネスとして

たな友とは?

令和3年度棚田保全ネットワーク推進事業支援業務  
【事業実施】 Green Labo 合同会社 グリーンラボラボ  
TEL: 0749-31-3176 E-mail: info@tanatomo.jp  
【事業実施主体】 高島市環境水産部 農村振興課  
TEL: 077-628-3963 E-mail: gh01@pref.aichi.jp

お問い合わせ、お申し込みは

MAIL info@tanatomo.jp  
http://tanatomo.jp  
FAX 06-7632-3021

### 12月4日(土) たな友 棚田交流会 プログラム

開催地区: 滋賀県高島市鶴川地区  
対象者: たな友・棚田地区のみなさん  
最大参加人数: 定員 40名 ★事前申込制  
参加費: 昼食代(棚田米のおにぎり)500円

現地研修に参加される方にご用意いたたくもの  
軍手・長靴、汚れてもよい服(長袖) ※服装は任意あり

※棚田地区の方のプログラムから参加いただけますので、12期に公民館に集合ください。バスで現地に向かいます。①からの参加を希望の方はお申し込み締め切りまでお返ください。

(受付) 9:00 ~ 9:30 (たな友)

9:30	【開校】高島公民館(アイリッシュパーク小ホール) 自己紹介 ・参加者、講師共に自己紹介を行います	高島公民館
9:50	① 棚田大学 産学プログラム 1 「棚田での米づくりと鶴川地区の今」 講師: 鶴川棚田保存会 ・棚田での1年間の米づくりプロセスや今の棚田の現状、これからの課題などを皆さんに知ってもらいます	高島公民館
10:20	② 実地研修 ※雨の場合は、鶴川の現地研修 講師: 一般社団法人グリーンカラー 稲島征二氏 ・刈払い機使用の実地研修 ・棚田での農作業に必要な小型の機械についての扱いやリスクを説明します	現地 棚田
12:30	③ 交流会「棚田でディキョップ」 ～参加者・地区住民の交流タイム～ ※雨の場合は、高島公民館にて交流会 (昼食(棚田米のおにぎり))	現地 棚田
14:00	④ 棚田大学 産学プログラム 2 講師: 認定NPO 法人英田上山棚田部 ・「楽しいことは正しいこと」を理念に棚田再生に取り組んできた、岡山県美作市の上山棚田での保全活動に関する具体的な話、楽しみながら活動を継続するための工夫など、上山棚田の実践をレクチャーしていただき、全国屈指の先進的な取組に触れます。	高島公民館
15:00	⑤ 感想の共有・アンケートの配布・回収 ・交流会に参加しての感想や、今後棚田を楽しむ輪を広げるためのアイデアなどを共有 ・アンケートの配布、記入、回収 ・県からのお知らせ (15:30 終了予定)	高島公民館

※プログラムは、本開催前作成時点のもので、当日は変更になる場合がございます。講師・詳細情報は本チラシにてご確認ください。

【コロナ対策など、開催に関して】  
●マスク、消毒液などは必ずご用意し、手洗い・アルコール消毒・うがいをお願いします。  
●参加者が意思の疎らな場合は定期的に検温実施するなど、感染対策を行います。  
●参加者同士の距離を確保するよう、配慮を考慮しご案内しますのでご協力ください。  
●会場内での飲食は、必ずマスクの着用をお願い致します。  
●本開催の場には、必ずマスクの着用をお願い致します。

【会場のお客様へお願い】  
●お越しの際に、アルコール製剤(手・指の消毒)にご協力をお願い致します。(消毒液をご用意しています)  
●参加者同士の距離を確保するよう、配慮を考慮しご案内しますのでご協力ください。  
●本開催の場には、必ずマスクの着用をお願い致します。

【事業実施】 Green Labo 合同会社 グリーンラボラボ TEL: 0749-31-3176 E-mail: info@tanatomo.jp  
【事業実施主体】 高島市環境水産部 農村振興課 TEL: 077-628-3963 E-mail: gh01@pref.aichi.jp



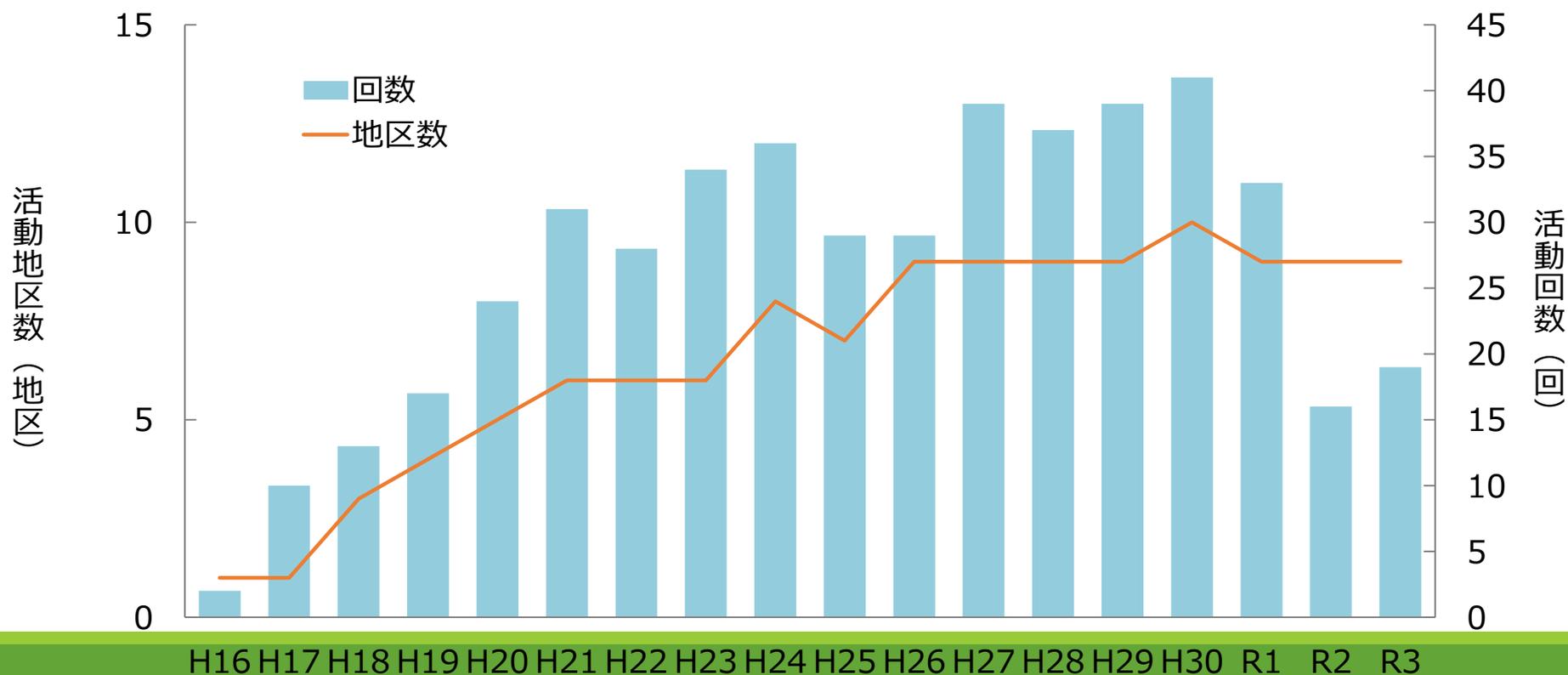
草刈り実地研修の様子



棚田大学 先進地事例発表

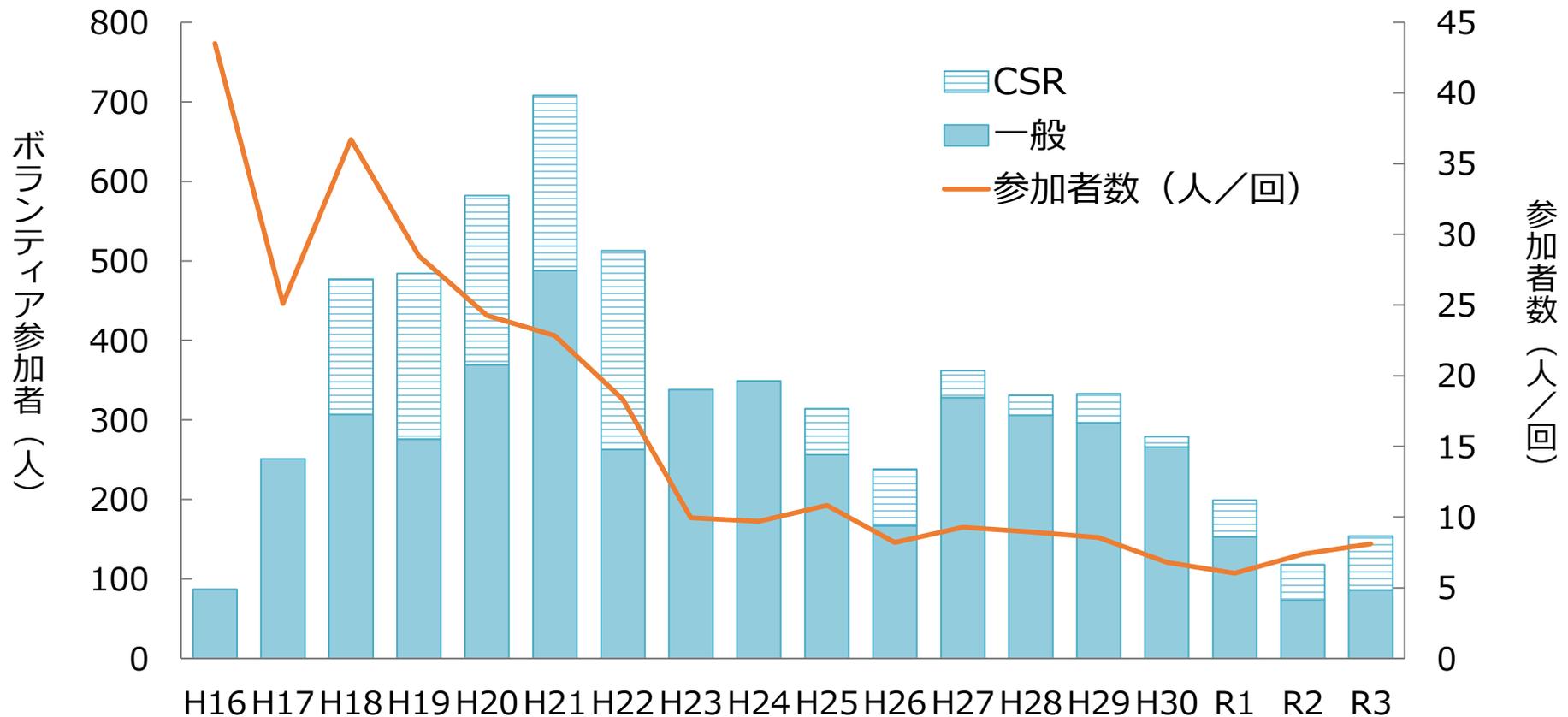
# ■ 棚田ボランティア活動地区数と活動回数

- 活動地区数: 累計12地区 (R3年度 9地区)
- 活動回数: 累計477回 (R3年度 19回)
- R3年度も新型コロナウイルスの影響で活動回数が減少



# ■ 棚田ボランティア活動参加者数

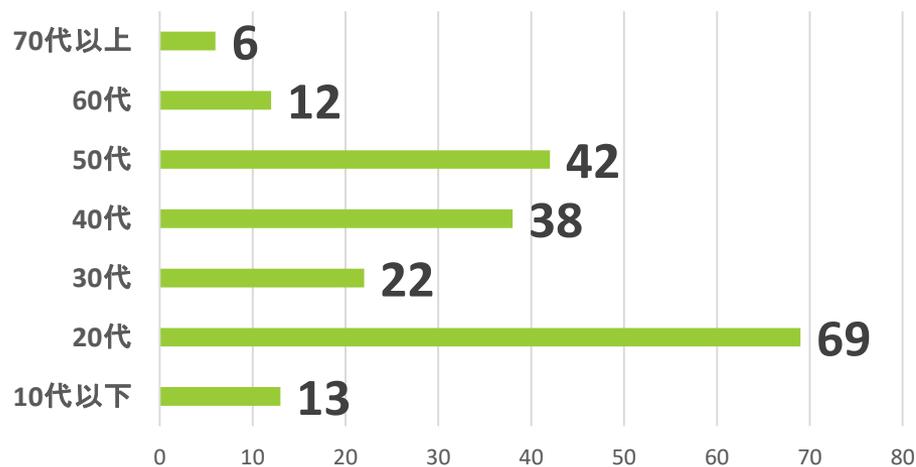
- 累計 6,117人 うち、一般参加者 4,659人  
企業・大学等 1,458人



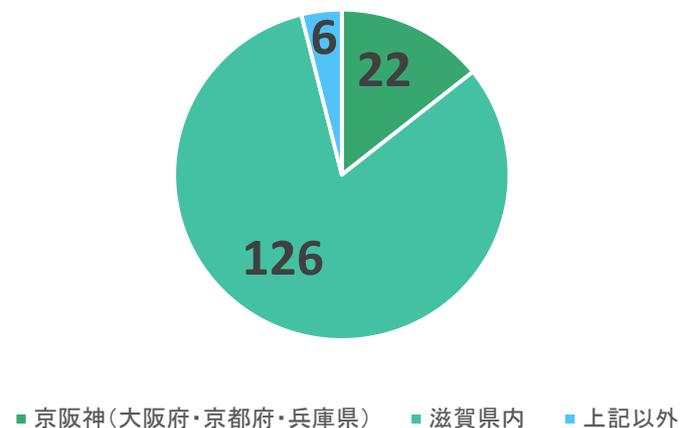
# たな友登録者

2022年8月31日時点 207名

年代



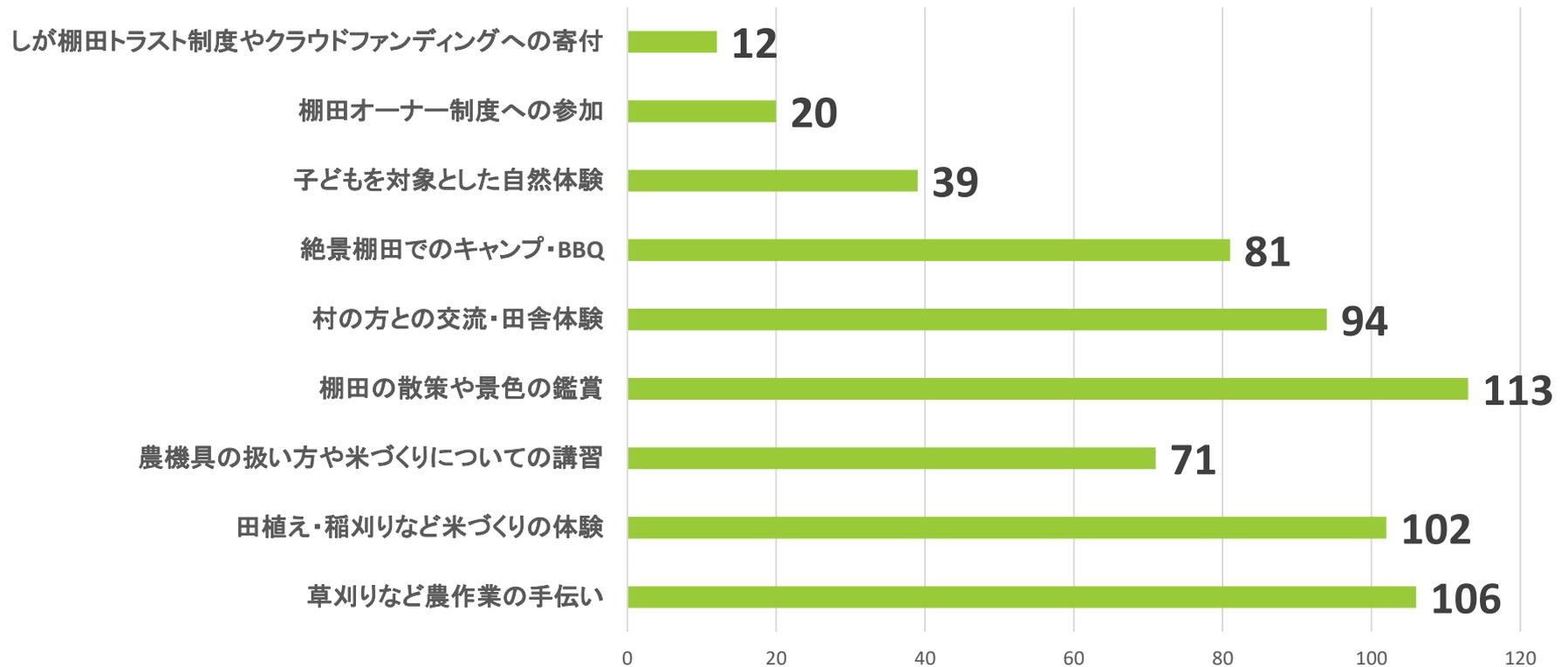
お住まいの地域



# <棚田でやってみたいこと>

複数回答あり

棚田でやってみたいこと



# 第27回全国棚田（千枚田）サミット開催

令和4年10月1日～2日  
に高島市で開催される。

第27回全国棚田（千枚田）サミット 2022 in 高島市

10/1(土) - 10/2(日)

滋賀県高島市

国土の保全や良好な景観の形成、伝統文化の継承などに大きな役割を果たしている「棚田」。昨今の担い手不足や耕作放棄などの課題解決に向けて議論する全国棚田サミットが今年、滋賀県高島市で開催されます。

開催地：滋賀県高島市

会場：高島市会館  
ガリバーホール  
藤原の里文化芸術会館  
市民ホール

主催：全国棚田(千枚田)連絡協議会  
主 管：第27回全国棚田(千枚田)サミット実行委員会

問い合わせ先  
第27回全国棚田(千枚田)サミット実行委員会 事務局  
〒520-1592 滋賀県高島市新町町北廻り565番地(高島市農村整備課内)  
TEL:0740-25-8529 FAX:0740-25-8519  
E-mail:nouson@city.takashima.lg.jp

## 第27回全国棚田サミット 千枚田 2022 in 高島市

10/1(土) 10/2(日)

9:30 オープニング  
高島市内の市民館を中心に、全国棚田サミットオリジナルの演出を披露します。また、「高島市の自然と私の未来」をテーマにした作文の朗読を行います。

10:00 開会式

10:30 事例発表  
中山間地域の取組と活動紹介  
滋賀県 農政水産部 農村振興課  
滋賀県各所で地域の特徴である棚田を保全し、次世代に引き継ぐために積極的に活動されているみなさんを紹介します。

11:00 基調講演  
棚田地域の保全と継承  
棚田学会 会長 山岡 永司 氏  
主司研分研 農工学・園芸学 准教授 渡邊 大 農村計画学・土地利用・農村振興・国際社会学 産村関係愛媛県出身、東京大学名誉教授。

14:30 分科会  
棚田を守る“人”が芽生える～農修人口の創出と外部との連携～  
【コーディネーター】  
第1分科会 経済大学社会学部教授 坂本 清彦 氏  
棚田を守るにはさまざまな「人」の力と知恵が必要ですが、この分科会では、農業を担う人材が育たない原因と対策について話し合ったり、関係機関との連携や企業や外部の人々と関係を開き、力を知恵を結集するための方法を参加者とともに考えます。

棚田に慣れた「価値」を繋げる～地域振興の担い手と次世代への継承～  
【コーディネーター】  
第2分科会 経済大学社会学部教授 藤田 健一 氏  
高齢化と農業者の減少により衰退した地域は、企業や農業などでの地域活性化で生き直し継承されようとしています。そこで欠かせないのは継承者とサポートする住民の存在です。この分科会では、継承者の継承を促し、継承者と地域活性化の関係性について考えます。

棚田を愛む「くらし」を感じる～農山村の魅力体験と移住促進～  
【コーディネーター】  
第3分科会 経済大学社会学部教授 西川 芳昭 氏  
生活環境や農業振興の多様化により、以前と比べ居住地の自由が増し、農山村地域での生活に魅力を感じ移住仕方が増えています。この分科会では、棚田地域の魅力や移住促進策の取組について参加し、移住・定住を最終目標とした人口移動をみ出す方法について考えます。

棚田まもりびとミーティング  
【コーディネーター】  
特別分科会 NPO法人棚田ネットワーク代表 中島 純広 氏  
早稲田大学名誉教授。  
棚田を守る人々との意見交換を行います。

8:30 現地見学会・観光エキスカージョン

現地見学会  
①山棚に幾何学模様広がる「雫の棚田」コース  
②棚下にひわ湖が広がる「湖川の棚田」コース  
【参加費】1,000円  
【コース】高島市会館→雫の棚田見学→湖の茶屋の裏とわがわ(買い物)→高島市会館

観光エキスカージョン  
①1日だけの見学コース  
【参加費】1,500円  
【コース】高島市会館→湖の茶屋の裏とわがわ(買い物)→高島市会館  
②メタセコイア基本体験と秋の味わいコース  
【参加費】1,200円  
【コース】高島市会館→メタセコイア体験→高島市会館  
③おっさん川村交流館訪問コース  
【参加費】1,500円  
【コース】高島市会館→おっさん川村交流館(交流館)→高島市会館  
④森林公園くさのきで  
【参加費】1,000円  
【コース】高島市会館→くさのき(高アールト体験)→湖の茶屋の裏とわがわ(買い物)→高島市会館

11:30 閉会式典

# ■ 令和4年度事業実施計画

事業名	事業内容	当計画における成果目標	
棚田の保全及び地域の振興	棚田の魅力発信やボランティア参加の募集および保全活動支援を実施する。	支援の実施	
		ボランティア参加者数	320人

## ■ 事業推進の課題・対応策

- ・棚田トラスト制度の寄附金額が減少している。
  - ・活動を支えるスタッフの高齢化、減少している。
- 「棚田モデル地区プロジェクト支援」の実施

より深く、より多様な形で棚田地区に関わる地区外の人材を呼び込むことを目的として、地域の問題や取り組みたいことに対し支援。

令和4年度は甲賀市山女原地区(令和3年度懇話会視察地)で、茶畑の再生&茶の実油の製品化、休耕田でのハーブ栽培支援によるクラウドファンディングの実施、トラスト制度での返礼品の設定等を進めていく予定。